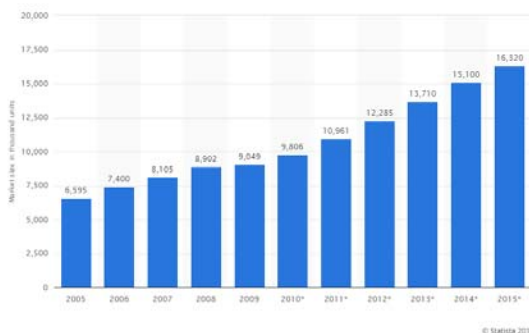


Audi BMW Daimler 3 社共同で HERE を NOKIA から買収

Info scout: Setsuko Schwarzer

8月3日、Audi、BMW および Daimler は、NOKIA の次世代モビリティとロケーションサービスをおこなうために重要なマッピング・ロケーション・データと機能を提供している HERE を 3 社間で等分して、買い取することを発表。

安全運転のアシスト、さらに完全な自動運転のベースとなるデータ処理機能 HERE は、現在一番規模が大きく、高度に進化しているデジタル・マッピング・ロケーション・システム (digital mapping and location systems) である。Navteq 社が、1986 年にシカゴで、初めて開発。2007 年に Nokia の手に渡り、さらに今回の 8 月 3 日のプレス・リリースに至っている。高精度デジタル・マップ (high-definition digital maps) 用のクラウド (Cloud Computing) で構成されており、現在 200 カ国、50 以上の言語で適用されている。Nokia の傘下、HERE 従業員数は、現在 6,454 名。Google、TomTome 等のナビゲーション用のマップ・データをサプライしてきており、欧州の「ナビ」の 5 台に 4 台は、HERE のシステム。2014 年 IHS リサーチ社によると、欧州で生産される 17 百万台の自動車に「ナビ」が搭載されている。



自動車搭載ナビゲーションシステムの普及推移

<http://www.statista.com/statistics/218116/forecast-of-global-car-navigation-market-size-since-2005/>より引用



<http://www.eurotransport.de/news/digitaler-kartendienst-daimler-bmw-und-audi-uebernehmen-here-6645594.html>より引用

創設 150 年のフィンランドに根拠地を置く Nokia は、昨年 Microsoft にテレコム部門を売却、その後経営が思わしくなく、さらにライバルの Alcatel-Lucent との合併が予想されている。2014 年に大幅な売上損失をだしているが、HERE 部門は、2015 年前半のオペレーション・プロフィットが約 28 Million Euro (約 174 億円) と黒字。Nokia の CEO、Rajeev Suri (ラジーフ・スーリ) によると、HERE を無事にドイツのカーメーカー側に Spin-Off させた後で、さらに Nokia と Alcatel-Lucent の合併を行い、Nokia 側の経営刷新を図る見通し。

Audi、BMW、Daimler は、リアルタイムで各車へのデータを分析・応用し、HERE のシステムを通し、より安全で快適な走行を実現をめざす。同 3 社は、運転する際の環境の生データを共有することになるが、各社のブランド別事業・営業展開は、顧客のリクエストにあわせ、従来どおり個々別々に展開される。

Audi、BMW、Daimler 協定による HERE は、同種サービスの Apple と Uber を上回ることになる。なお、自動車・IT 両部門の専門家たちは、今後、Audi、BMW、Daimler により、自動車に組み込まれる IT 技術の詳細標準化が急速に進むものと見ている。

以下、カーメーカー側の関係者のコメント
AUDI AG CEO Rupert Stadler (ルーベルト・シュタードラー) : 高度精巧なデジタルカメラを車の目として搭載し、私たちを取り巻く常に変化する環境に、最新デジタル・マップ

ング技術で対応、新型モデルを開発してゆく。

BMW AG CEO Harald Krüger (ハラルド・クリューガー) : 速度制限をはじめとする運転に必要な環境状況を認知するためのデータ・マッピング、さらにデータ・プロセスを行える HERE により、ドライバーの視認能力をアシストし、安全で快適な運転を実現できる。

Daimler AG CEO Dieter Zetsche (ディーター・チェッツェ) : カーメーカー、そして、サプライヤー、顧客にとって、デジタル・マッピングは、これからのモビリティを構成する重要なコンセプト。他の産業セクターとの関連を従来どおり保持しながら、同協定により、HERE の IT 機能をシェアしてゆく。

具体的技術開発展開は、**AUDI AG CTO**

Ulrich Hackenberg (ウルリッヒ・ハッケンベルグ)、**BMW AG CTO Klaus Fröhlich** (クラウス・フローリッヒ)、**Daimler AG CTO Thomas Weber** (トーマス・ヴェーバー) が、陣頭指揮に当たり、HERE を通して、ユーザーに最新情報を提供。最終的には、自動運転に必要な膨大なデータ量の供給・処理をターゲットとしている。

渋滞回避、事故防止、ABS 機能とリンクさせ、路面の凍結状態と車外の気温を的確に察知、データ処理し、ドライビング・コンディションに反映する。また、市街の環境保護のためのスピード制限、**Green Phase** 規制に対応し、"green wave" を察知し、エンジン作動、燃費を最適状態に調整できるようにしてゆく。

HERE では、いうまでもなく、各車の個別ドライビング・データを記録して統計分析、燃費最適化等、環境を考慮したリアルタイムへの応用機能も含まれている。

今回の HERE の Nokia からの買収額は、公表されていないが、Audi、BMW、Daimler

の 3 社間で均等負担、総額約 2.7 Billion US\$ (約 3,370 億円 1\$ =125JPY) とみられる。カルテル法に違反していないかの審査を受け、支障がないと確認されると、来年 2016 年第 1 四半期に、正式調印となる見通し。(05.08.2015)

(参考資料)

<http://www.autoblog.com/2015/08/03/audi-bmw-daimler-buy-nokia-here-official/>

<http://www.manager-magazin.de/unternehmen/autoindustrie/a-1046438.html>

<http://www.cnet.com/news/nokia-sells-here-maps-business-to-carmaker-consortium-of-audi-bmw-and-daimler/>

各ドイツ TV ニュース (8 月 3 日付け)